

自立と誇りある
日本をつくります**自民党** 党員を募集しています。入党を希望される方はスタッフまで！

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】

「憲法」を考えることは「国のあり方」を考えること

「国会トピック」

衆議院外務委員会質疑～エネルギー・鉱物資源専門官のあり方について

きかわだステーション



第 53 号

きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑
衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591**「憲法」を考えることは「国のあり方」を考えること**

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

5 月 3 日（水）の憲法記念日に安倍総理は、都内で行われた会合に寄せたビデオメッセージで、憲法を改正して 2020 年の施行を目指すことを表明しました。いよいよ、憲法改正の議論が本格的に進み出すように感じています。

私が所属する自由民主党は、平成 17 年に制定された新綱領の中で、「私たちは近い将来、自立した国民意識のもとで新しい憲法が制定されるよう、国民合意の形成に努めます。そのため、党内外の実質的論議が進展するよう努めます」と定めており、憲法改正を党是としています。私が自由民主党から衆議院議員選挙に立候補しようと思った大きな理由の 1 つが、この憲法改正という党是です。

私は、我が国の平和と繁栄に、現憲法が大きく貢献してきたという考え方に賛同します。しかしながら、憲法がつけられた昔と今とは、国際関係や生活様式、技術革新等、様々な面で大きな変化が起きています。

私は、これら様々な変化に対応した国のあり方を考え、それを基に現憲法を改正すべきと考えます。

先日、憲法に係る出来事が、私たちの身近で起こりました。衆議院小選挙区選出議員の選挙区の改定案についての勧告です。私が活動しています埼玉 3 区は、最少人口の鳥取県の選挙区と比較して、1 票の格差が 2 倍を超えていました。よって、越谷市内の一部の地域（約 3 万 2,000 人の有権者の方が対象）が、隣の埼玉 13 区に移る案が、衆議院議員選挙区画定審議会より安倍総理に提出されたのです。GW 中、埼玉 13 区への移行が勧告された地域の皆様と意見交換させていただきました。当該地域の皆様からは、どうして同じ越谷市民なのに、選挙区を切り離されなければならないのか？不公平ではないか？というご意見を多数いただきました。

今回の区割りの見直しは、現憲法第 14 条 1 項に規定された「法の下での平等」に基づき最高裁判所が出した、地域間における 2 倍以上の 1 票の格差は違憲であるという判決に基づいています。現憲法下では、1 票の価値を考える際に、対象地域の風土や文化、面積等は一切考慮されません。このことにより、越谷市は、市の一部が、隣接する選挙区に移行される勧告が出された次第です。全国を見ますと、衆議院の選挙区そのものが無くなってしまいう地域が 6 つあります。また、参議院議員選挙の選挙区でも、1 票の格差により、鳥取県と島根県、徳島県と高知県で合区が行われました。

少子高齢化と東京圏への一極集中が進む中、このままでは、地方から国会議員がいなくなり、東京圏では選挙区が行政区等に関係なく細分化され、国会議員が増えることとなります。私は、将来の国のあり方を考え、選挙制度を根本的に見直す必要があると感じています。そのためには、憲法に新たな条文を加える等、改正作業が必要になることも十分に考えられます。

この度の安倍総理の表明等、憲法が益々注目される中、国民的な議論は不可欠です。自民党は、平成 24 年 4 月に、憲法改正草案を発表しています。党内において、さらなる議論を重ね、より良い憲法改正草案を作り上げる必要があります。現在、党内では、憲法改正推進本部の会合が開催されており、私も積極的に参加しています。「私たちの国はこれからどうあるべきか」をよく考え、様々な視点を踏まえて、引き続き取り組んで参ります。

平成 29 年 5 月吉日 衆議院議員 黄川田仁志

衆議院外務委員会質疑～エネルギー・鉱物資源専門官のあり方について

4月7日（金）の衆議院外務委員会において、エネルギー・鉱物資源専門官のあり方について質問させていただきました。

エネルギー・鉱物資源専門官は、平成25年2月から各在外公館に配置されています。

同専門官は、石油、天然ガス、石炭及び戦略的鉱物資源に関する情報を収集・集約すると共に、我が国のエネルギー関連企業、関係機関等との連絡・調整の窓口となります。オールジャパンでエネルギー・資源外交を進めていく上で、さらなる活躍が求められています。

この度、同専門官制度発足から4年が経ち、世界のエネルギー・鉱物資源をめぐる環境が大きく変化していることを鑑み、シンガポール、マレーシア、メキシコ、イラン、ナイジェリアの各国の日本国大使館、及び、カナダのカルガリー日本総領事館に、新たに同専門官が配置されました。これにより、現在、54か国、のべ60の公館に、79名の専門官が配置されたこととなります。

エネルギー・鉱物資源の安定供給は、我が国の経済活動はもちろん、安全保障の面からみても、大変重要な政策です。そして昨今、エネルギー・鉱物資源をめぐる動きは、大きく変化しています。例えば、シェールガス革命により米国が資源輸入国から輸出国になりました。また、アジアにおける新興国のエネルギー需要が増加し、二酸化炭素等気候変動問題への対応も求められています。これらの変化に対応するため、政府は常に、最大限の努力をしなければなりません。その上で、エネルギー・鉱物資源専門官の役割は、今後益々重要になります。

私からは、年に1度、東京で開催されている「エネルギー・鉱物資源に関する在外公館戦略会議」に、より多くのエネルギー・鉱物資源専門官に参加してもらい、他省庁や研究機関、民間企業等も含めた有意義な情報の交換、共有を促進すること、併せて、地域別で開催している「地域公館エネルギー・鉱物資源担当官会議」について、アフリカ以外の地域でも積極的に開催することを提案させていただきました。また、現在、エネルギー・鉱物資源専門官が配置されている国と都市を見ても、大規模洋上風力発電等再生可能エネルギーの開発に積極的に取り組む北欧等、欧州の先進国が抜けています。このことから、再生可能エネルギー先進国にも必要に応じて積極的に配置するよう、岸田外務大臣に提案させていただきました。エネルギーと資源に係る政策は、私の重要な政治テーマでもありますので、引き続き、注視して参ります。



質問する黄川田仁志議員

エネルギー・鉱物資源専門官が配置されている国と都市 平成29年4月7日現在 ※（領）は総領事館

- 【アジア地域】インド、インドネシア、シンガポール、中国、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス
- 【大洋州地域】オーストラリア、シドニー（領）、パース（領）、ブリスベン（領）、メルボルン（領）、ソロモン、パプアニューギニア
- 【北米地域】米国、ヒューストン（領）、カナダ、カルガリー（領）、バンクーバー（領）
- 【中南米地域】アルゼンチン、チリ、トリニダード・トバゴ、ブラジル、ペルー、ボリビア、メキシコ
- 【欧州地域】アゼルバイジャン、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ロシア
- 【中東地域】UAE、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア
- 【アフリカ地域】アルジェリア、アンゴラ、ガーナ、ガボン、ギニア、コンゴ民主、ザンビア、ジンバブエ、南スーダン、タンザニア、ナイジェリア、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、南アフリカ、モザンビーク、ルワンダ

自由民主党埼玉県第3選挙区支部では党員を募集しています！

きかステ読者の皆様には、いつも熱心にお読みいただき、誠にありがとうございます。

自由民主党埼玉県第3選挙区支部（衆議院議員黄川田仁志事務所）では、我が国の繁栄、国民の皆様様の安心安全のため、党員としてご支援いただける方を募集しています。**入党資格は、①自民党の綱領、主義、政策等に賛同される方、②満18歳以上で日本国籍を有する方、③他の政党の党籍を持たない方です。党費は、一般党員が年額4,000円、家族党員が年額2,000円、特別党員が年額20,000円以上となっております。**入党には紹介党員が必要ですが、お知り合いの党員がいない場合等、事務局までご相談いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。【事務局048-933-0591】



自民党の立党宣言・綱領はこちらをご覧ください

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員。2期目。東京理科大学卒、米川-ランド大学大学院修了。昭和45年生。趣味は剣道、空手、野球、落語。妻、長女と越谷市内に在住。第3次安倍改造内閣で外務大臣政務官。衆議院では、外務委（理事）、予算委、科学技術イノベーション推進特委、TPP特委所属。党では、団体総局生活安全関連団体委員長、青年局 次長、国際協力調査会 副会長、宇宙・海洋開発特別委員会幹事を務める。